

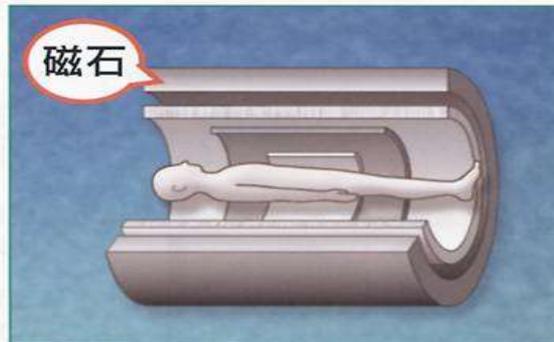
MRI検査を

お受けになる患者さんへ

MRI検査を安心して受けていただくために、検査の仕組みと手順についてご説明いたします。

MRI検査とは…

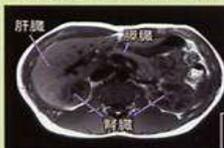
磁石が埋め込まれたトンネルの中に体を入れて、コンピューターによって、体の中を映し出す方法です。



使用する磁気や電波は、**無害で、体に感じるものではありません。**

- ① 検査による痛みはありません。
- ② X線被曝は全くありません。
- ③ 患者さん自身の体の位置を変えなくても、あらゆる角度から、体の中の様子をみることができます。

▼お腹の中のMRI写真



別の角度からみたMRI写真



次のような方は必ず
スタッフに申し出てください。

検査を受けることができません

- 心臓にペースメーカーを使用されている方



- 金属製の心臓人工弁を入れてある方
- 人工内耳を入れてある方

検査を受けられないことがあります

- 脳動脈瘤の手術により、金属クリップを入れてある方
- その他の金属を体内に入れてある方
- 補聴器を使用されている方

検査前に必ずご記入下さい。

◎ご署名

心臓ペースメーカーは、ありませんか	ある	ない	衣服にラメ入りのタグや刺しゅうは、ありませんか	ある	ない
ある方はいつ頃手術をなさいましたか	年	月	指輪・ピアス・ネックレスは、外しましたか	はい	いいえ
体内に金属や手術用クリップは、ありませんか	ある	ない	湿布・エレキバン・カイロは、とりましたか	はい	いいえ
入れ墨・タトゥーは、ありませんか	ある	ない	ラメ入りの化粧・マスカラ・アイシャドウは、とりましたか	はい	いいえ
パーマントアイライナーは、ありませんか	ある	ない	ネイルアート・ラメ入りのマニキュアは、とりましたか	はい	いいえ
カツラは、つけていませんか	つけている	つけていない			

*なお、検査直前には、時計・入れ歯・補聴器・カツラ・カラーコンタクトレンズ・心臓貼り薬などを外していただきます。

1 検査を受ける際

金属およびラメのついていない下着一枚になって、検査着に着替えていただきます。



- 身につけている金属類を外してください。
- クレジットカードやテレホンカード、定期券などは、MRI装置の磁気によって使えなくなってしまいます。検査室には持ち込まないよう、お願いします。
- 金属粉を含んでいる化粧品はおとして下さい。
- パーマネントアイライナーや入れ墨をしている方は、熱傷のおそれがございますので、医師・検査スタッフにお申しして下さい。
- 妊婦・妊娠の可能性のある方は、医師・検査スタッフにお申しして下さい。

2 検査のご説明

検査室に入る前に、金属を身につけていらっしゃらないか、再度確認させていただきます。

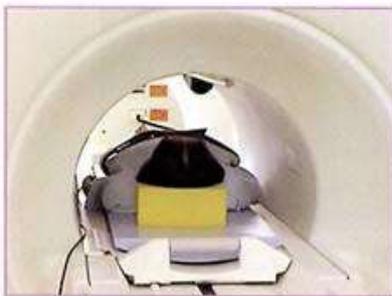


- 検査用のベッドに仰向けに寝てください。体の位置がずれないように固定します。
- 検査中に異常を感じた時のために、連絡ブザーがございます。また、検査中は検査室スタッフとマイクを通していつでも会話ができます。
- 検査時間は、約30分から1時間程度です。
- 肩の力を抜いてリラックスしてお受けください。具合が悪くなった時はどうぞ遠慮なくお知らせください。

*** ご不明な点は、検査担当の放射線技師までご相談ください。**

3 検査をはじめます

検査が始まると「トントン、ビービー」という大きな音が聞こえてきますが、装置から出る音ですから、安心してください。



- 検査する部分が胸やお腹の場合
何回かに分けて、少し息を止めていただくことがあります。できない方はスタッフにお申し出ください。
- 造影剤について
検査の内容によっては造影剤という薬剤を、静脈内に注射して検査を行う場合もあります。造影剤については、担当医からの説明をお聞きください。

検査終了

検査後、安静などは必要ありません。食事や入浴など、日常生活は普段通りで結構です。

- 検査の結果は専門医が診断します。
- 皆様には主治医の先生が説明いたします。指定された日時にご来院ください。

